

中山小大規模改修・ 大山中技術棟改築

6月定例議会

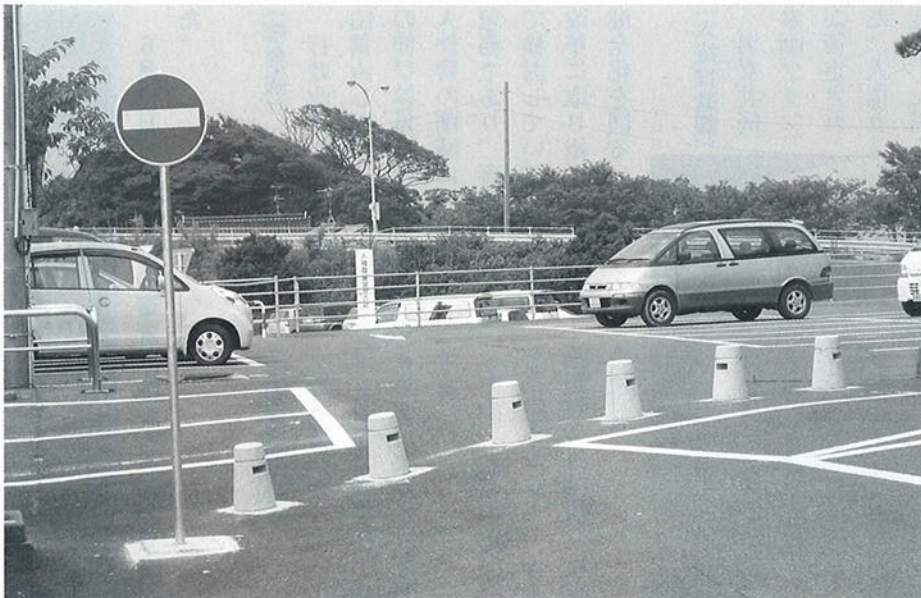
契約を承認、着工へ

6月定例議会は、6月11日に開会し、20日に閉会しました。

平成19年度一般会計補正予算、中山小学校大規模改修工事の請負契約(契約額 2億5千万円)、大山中学校技術棟改築工事の請負契約(契約額 1億3千9百万円)等、9議案を審議し、全て原

案どおり可決しました。また、本庁舎駐車場改修工事他5億8千万円の18年度予算の繰越が報告されました。

一般質問では10人の議員が、大山恵みの里構想や農業施策など、20項目にわたり町当局の考えをたずねました。



役場駐車場内が通行規制になりました

議案質疑

一般会計補正予算

問 (西山議員)

小学校費に英語活動等国際理解推進事業の予算が計上されたが、その内容と重要性は。

答 (狩野学校教育課長)

現在小学校では、総合的な学習の時間に、担任を中心に外国語指導助手を活用し、英語活動を推進している。国際理解教育ということもあるが、コミュニケーション能力の育成も狙いとしている。小学校での英語の教科化ということも議論されているが、現在のところ英語教育ということではなく、国際化の中で、子ども達の表現力育成や国際理解教育を目指す英語活動として行なっている。

工事請負契約

(中山小学校校舎大規模改修工事)

問 (川島議員)

工期中の児童の安全はどのように図るか。

答 (狩野学校教育課長)

校舎内、児童の授業等に関わる部分については、夏休みに重点的に行い、夏休みの前後は授業に支障ない範囲の工事を行なうことで確認している。

人権擁護委員に同意

任期満了になる人権擁護委員に、新たに大塚典子氏(神原)を推薦したいという町長からの提案に対し、適任であるとして全会一致で同意しました。



大塚典子氏



着工された中山小学校大規模改修工事